

各学校で生きて働く研修・実践交流を！

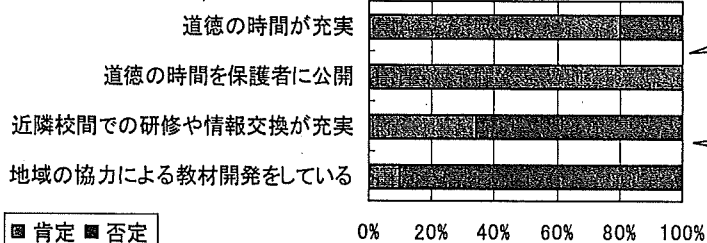
三次市道徳教育推進委員会

アピールポイント

道徳教育推進上の課題を具体的にとらえて研修を企画し、「参加してよかった」「自校の実践に生かしたい」と思える場となるよう工夫しています。

現状から

6月に実施したアンケート結果の一部
(対象：各学校道徳教育推進教師)



これまでの取組みにより、道徳の時間は充実。「保護者公開」も全ての学校で実施されます。

自校の研修を充実させるための学校間連携、魅力的な教材開発は、多くの学校の共通の悩みです。

研修の工夫

道徳教育推進委員会（各学校の道徳教育推進教師で構成）として、年間通して研修を行います。

【理論研修・演習】

- 道徳教育全体計画、道徳の時間の年間指導計画の機能化について
- 道徳教育推進体制の確立について
- 道徳教育用教材の開発と活用について
- ワークショップ
- ～道徳の時間授業づくりの基礎～

地域の素材や身近な話題を生かした教材（資料）の開発と活用について、基本的な理論の学習と情報交換を行います。

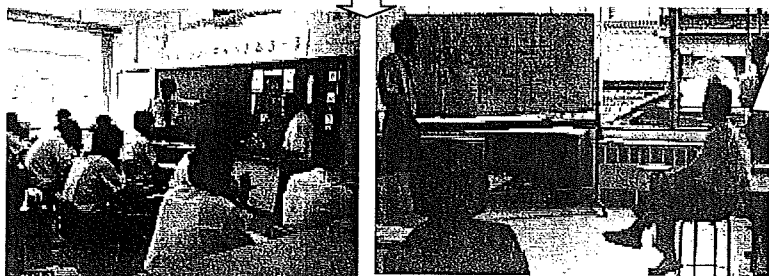
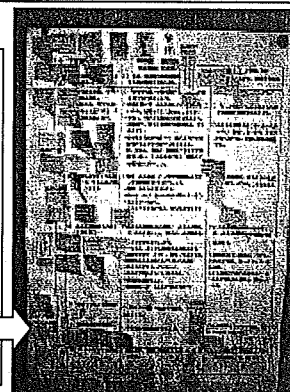
参加を希望者とし、道徳の時間の授業づくりの基礎について、ワークショップを行います。（2回シリーズで計画）

【授業研究】

- 市内先進校・指定校の公開研究会や授業研に参加（年間5回）
- 中学校での授業研究（年間2回）

魅力的な教材（資料）の活用の視点で、心に響く授業づくりの在り方について検討します。
◎ 「情報モラル」を扱った自作資料による授業（三次市立十日市中学校）

体験活動と関連づけた指導や、保護者・地域との一体化を図った道徳教育について学ぶ機会です。また、授業づくりや研究協議のアイデアを共有できる場にもなります。
◎ 模造紙大に拡大した指導案を使ったワークショップ型研究協議の例
（三次市立田幸小学校）



【参加者の声から】

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた資料づくりの具体的な取組みが参考になった。
- ・今日の資料を使って、自校でもぜひ授業をしてみたい。
- ・自作資料をみんなで作ったり検討したりすることは、時間はかかるが、道徳の時間の充実に確実につながると感じた。